

生徒の実態

文字を読んで内容を理解することが困難である。



<本人の困り感、思い>

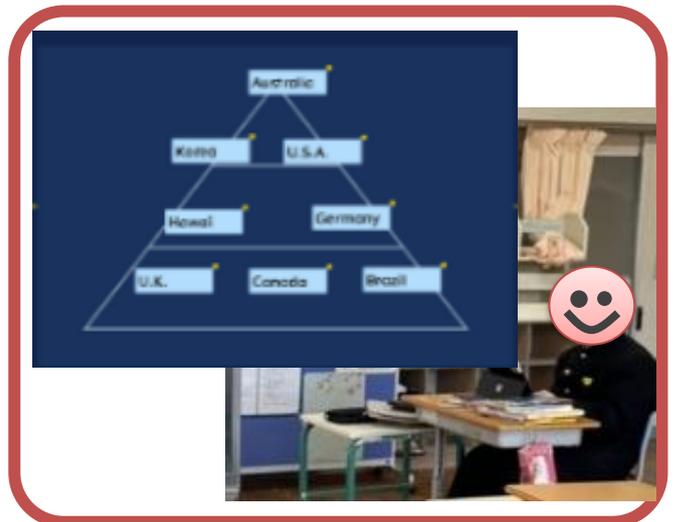
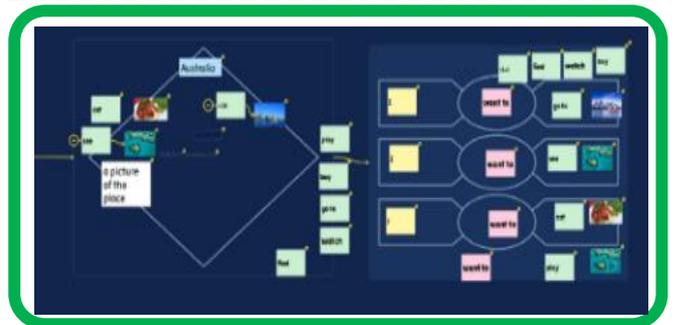
- ・ 文章の内容を読み取ることは苦手。
- ・ 得意とする聞き取りを生かした活動をしたい。

☆本人との対話、本人の思い

- ・ 国語科の長文読解は苦手であるが、英語の長文は理解をすることができる。
- ・ 交流学級の友達にも、小学校の頃より成長したところを見せたい。
- ・ パソコンの操作に長けているので、学習に生かしたい。

☆手立て・合理的配慮

- ・ 新出単語や、本人の自信のない英単語ごとにロイロノートのシートを作成し、それぞれのシートに発音や音声を録音し、自分で確認したいときに確認できるようにした。
- ・ シンキングツール（キャンディーチャートやフィッシュボーン、ピラミッドチャートなど）を利用し、生徒が語順を思い出し、思考を整理しやすようにした。
- ・ 初見の長文をどの程度理解できるのかを試すために、ロイロノートに共有ノートを作り、挿絵の内容を説明する英文を録音した。何度も再生することで文中の知らない単語の意味を推測しながら話を理解できた。



支援を受けてみて

- ・ 保存された英単語を、何度も聞いて内容を確認することができたのがよかった。何度も聞くうちに手掛かりとなる表現を探すことができた。（本人）
- ・ 日本語の長文の理解を苦手だが、英語の長文は困難なく理解し、また、まとまった英文も初見で理解して、挿絵シートの入替えができたことに驚いている。（保護者）
- ・ 生徒が自宅でも発音の練習ができるようになり、自信を持って学習に取り組めるようになった。この手立ては、小学校の外国語活動でも効果的で、本人が個別に作業をする際、それぞれの進度に合わせて音声を確認できる。さらにスピーチを発表する前の発音の確認に活用できる。（学校）